

私の宝物な時間

城北中学校 三年 矢後 穂乃佳

私は、一、二年生の時に三年生が県大会に行けなくて、私たちの学年では絶対に行くと思つて部活をやってきました。

先輩が引退して初めての公式戦が新人戦でした。私たちの学年は人数がそろつていたけど、一人一人がやりたいことをやってチーム全体がまとまっていませんでした。私はガードをしていて、ボールを運ぶことが仕事です。なので、「ボールを取られないようにしなきゃ」とか、公式戦というのもあり、三日前から色々な不安や、緊張がありました。そのせいで、パスマスやいつも入っていたシュートが入らず、良い試合ができませんでした。県西では千代と鴨宮に負けてしまいました。本当に悔しくて、試合で初めて涙が出てきました。その時本当に本気だったのだと思いました。でも県大会に行けることになった時は本当にうれしかったです。県大会はチームがまとまった感じがしました。最初は仲間を信じきれない時があったけど、練習などをしていくうちに、信じてプレーすることができるようになっていききました。新人戦はベスト三十二で終わってしまいました。でもこの悔しさをバネに地区一位、県西一位、県大会出場しベスト八になるという目標に向かってがんばってきました。

次の大会まで、つらい練習をいっぱいしてきたことが、私の中でがんばってきたことです。外周やサーキットなど走る形が一番きつかったです。でもチームのきまりとして、マイナス発言や、ひざに手を置くことは禁止なので、意識して行動するようにしました。

練習試合等もどんどん多くなっていて、塾との両立がとても大変でした。冬休みは朝早くから暗くなるまで、試合や練習がありました。そして、全然うまくいかない試合があるとやらなきゃいけないのにやらなかったりして、先生にすごく怒られたりして最初は、とても落ち込んでいました。キャプテンと二人でいっぱい怒られていたけど、今思うといい経験だったと思います。

バスケットをやるようになって先生から色々なことを教わりました。

大会が近くなってきた時に、何日か練習試合をしました。なぜか悪いところがでて、人任せなプレー、リバウンドなどうまくいかず本当に大丈夫かなとか、県西にもいけないのかなと不安でした。けが人もけっこういて、よくない状態が続きました。

そして最後の大会が始まりました。三試合目は白山と戦いました。スリーポイントを何本も入れられ、同点や一点差になったりしました。ラスト五分で足がつつて、抜けることになつて、もう終わったとか負けたらどうしようと思ひあせりました。でもなんとか戻ることで

き、最後までコートに立つことができませんでした。そこから二点決めて、ゴール下にあわせてパスして、カウントになった時は、本当に感動しました。決勝は三度目の正直で、今度こそ鴨宮に勝ちたかったけれど、勝つことができず二位でした。でも県大会には行くことができて本当に良かったです。

県大会では、一試合目は勝つことができました。シュートがいっぱい入って、今までうまくいかなかったことも出来て楽しかったです。二試合目は名瀬と戦いました。内容的には良かったところが多かったけど、やっぱりリバウンドだったり、シュートをいれるとこで入らなかつたりしたところだと思いました。試合中、心が少し折れた時先生に「大丈夫だから」と言われた時は泣きそうになりました。負けちゃって悔しいけど楽しくできて良かったです。

今までうまくいかなくて不安でいっぱいだったけど、先生の最後のバスケットの言葉は心強かったです。この部活をしてきて色々なことができるようになったのは先生のおかげだと思います。チームのみんなや、応援してくれた親に感謝でいっぱいです。